

音楽Ⅱ

音楽Ⅰと同様に、4つのブロックと題材、各種コーナーによって構成されています。「音のスケッチ」や「Review of Basics」などもステップアップした内容になっています。音楽Ⅰから音楽Ⅱへシームレスにご活用いただける教科書です。

Voice

自然の音を美しく響かせるよう

たからもの

作詞：堀江真由美 ★ 作曲：堀江真由美

ひかるいし
わたしのたからもの
たいせつに はなそう
ひかるいしを はなとあてて
ひかるいしを ひとり
つらひきかちて きていてまうけ
ひかるいし
でもちのもの
でもちものでは いていられない
すべてはひかりのたからもの
ていれたなら
ここにいらるよう
だれかにあげよう

作曲家からのメッセージ

自分ではなかなか気づいてくれない「ひかりいし」「たからもの」も、人と人との、おたがひおたがひの心と心を通わせるものながら、音楽をつなぎます。旋律の上行や下行、歌詞する意味の移、音の重なりや空のつながりで、どのように歌もの伝わりが変化するまでしようか。みなで確かめながら歌ってほしい。 堀江真由美

Moderato cantabile

ひかる いし わたし の たからもの た い せ つ に は な そ う 一 ま ー つ ら
い ら れ ば ち め っ け て ひ か る い し を て に ち ら い し
は ひ か っ て き ま ー し ま う け づ ら い き も ち め 一 き えて い っ た ひ か
い し は

詞は、阪神より西へ兵庫を飛ぶことができない中で詩作を続けける堀江、堀江真由美(1964-)による書き下ろし。曲は「ぜんぶ」等の映画で知られる作曲家J(1937-)による。

50 自然の音を美しく響かせるよう

p.50-51 たからもの

満 い し た か ら も の で も じ ゃ ん で は い れ ら れ
 ね ない
 た か ら も の で も
 わ た し の た か ら も の じ ゃ ん で は い れ ら れ
 ち い し た か ら も の で も
 て は
 こ ん ど こ
 い れ た な ら こ ん ど こ
 こ
 に い れ る 某 又 に た れ か に あ げ け ゝ
 た か ら も の

Volage

一ハミングで歌おうー
Enjoy HUMMING !!

Hum With Me..

作曲：中内浩二★

♩ 8拍でいい

Mm..... Ah.....

(ハミングでヒュン♪)

(ハミングでヒュン♪)

ピアノ/伴奏は常にソフテダラム(ヒュン♪ヒュン♪)を弾く

Mm.....

Mm.....

(ハミングでヒュン♪)

..... Ah.....

..... Ah.....

..... Ah.....

Hum With Me..

★ 伴奏が変わることによる音の響きの違いが楽しめます。
★ 曲の最後はHum With Me.. まででいい♪最後をサマッパで弾く。

p.11 Hum With Me..

ハミングで合唱を楽しめます！

Appreciation

p.102-103
オリエント急行

走行する蒸気機関車の様子と楽しい旅の雰囲気
を吹奏楽で描いています。

情景を思い浮かべながら聴こう

豪華列車「オリेंट急行」の旅を描くドラマ

「オリेंट急行」は、イギリス出身の作曲家 フリップ・スパーク (1951～) が1985年に作曲したブラスバンド (金管バンドもよい) のための作品で、のちに作曲者自身によって吹奏楽版に編曲されました。オリेंट急行が行き先を様子や情景の移り変わりを描いています。ここでは吹奏楽による演奏を聴いてみましょう。

🎵 オリेंट急行
フリップ・スパーク (Philip Sparke)



推理小説の舞台にもなったオリेंट急行

オリेंट急行は1883年に発生した失踪列車事件です。当初フランスのパリエトルクのイスタンブール間を運行していましたが、その後もさまざまな国でオリेंट急行を名乗るようになりました。車内の豪華な装飾、高級列車並みの食事やサービスなどは、ヨーロッパ社交界の人々の心を魅了しました。現在是最終期の豪華な車両を復元した観光列車が運行されています。

導入部

ホルン、トロンボーン、トランペットが、旅行を胸に躍らせるかのような躍如したファンファーレを演奏して旅立ちが始まります。



出発駅のぐざいれにも似た情景がおよそと、いよいよ豪華列車が発車します。車輪がゆっくりと動き始め、旅の始まりが汽笛が鳴り、列車の加速にスピードを上げていく響きが、打楽器や管楽器の便によって表現されます。



ゴードン・ウィリス
フロラ
イアン・ボリス

Accreation

主部

主部に入ると、木管楽器とコルネットによるオリエント急行の主題が、楽しい列車の動きをします。

SAMPLE

ホルンなどの金管楽器の動きが
駆け足ヨーロッパ大陸を走る列車
の運動感をもたし出します。

中間部

楽しい列車の進行の途中にも、♪と家路を思ふ人々を思い出すこともあるでしょう。ロマンチックな旋律が、アルト・サクソフォンの独唱で現れます。

SAMPLE

終結部

そして列車は再び駆け足走り出し、またもしく快進撃です。終結部で描かれる列車の快進撃シーンは、大々きく描かれる取返し音の真意（金管楽器）とともにブレイブ音（サクソフォーン、タンブリン）が囁き続ける後、長閑な緑の「新緑の国」が力強く現れます。

melles rallentando 穏やかに遅く

① Steam effect through instrument without producing a cue

金管楽器は、楽意を伝えるに
必要に意を込め込み、豊かにその
心込め意を込め込め込め込め込め

フグメント

フィリップ・パークは、プラスチックおよび吹奏楽器のための作品を多数発表しています。この「オリエント急行」のほか、「祝儀のための音楽」や「宇宙のドラゴン舟」などの作品があります。一般的に、吹奏楽は金管楽器と木管楽器打楽器などによる編成ですが、プラスチックは金管楽器と打楽器による編成です。

SAMPLE

Philip Parker

Our Music Sample

鉄道を描いた音楽を聴き比べてよ

多くの作曲家たちが「鉄道」にちなみ音楽を創作しています。フィリップ・パークのオリエント急行と対照的に聴いてみましょう。また、さざなみなどの代表的作曲家の鉄道、鉄道を以外で音楽について語りてみましょう。

① 北山（北山）

30分サウンドスケープ (Joshua Szwed)

オーストラリア前鉄道旅の通過に音楽を受けた作品です。鉄道旅行の動きが快活な旋律によって表されています。また、発車の時刻表や駅名などのさまざまな場面が現れます。

② 交響的列車第1集 (ジョージック 231)

アルフレッド・ユルグ (Alfred Hergert)

300 以上の高度な音楽的要素がゆめと動き、音楽に加えてフル・スピードで進行し、列車の動きや多くの要素をオーブ・サウンドスケープに作品です。交響的列車第2集ではカラーページを描写しています。

108